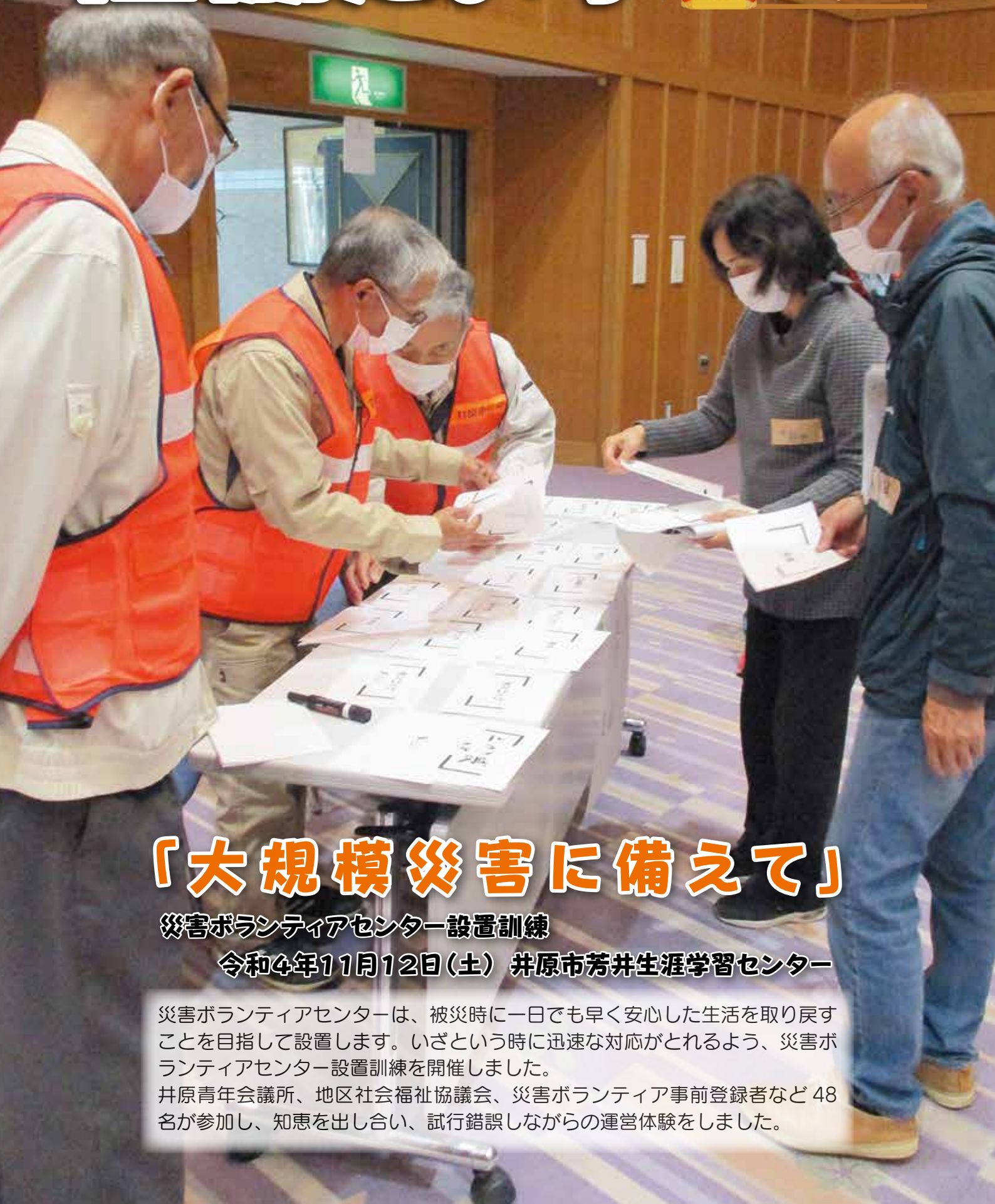


社協だより



202号

いばら



「大規模災害に備えて」

災害ボランティアセンター設置訓練

令和4年11月12日(土) 井原市芳井生涯学習センター

災害ボランティアセンターは、被災時に一日でも早く安心した生活を取り戻すことを目指して設置します。いざという時に迅速な対応がとれるよう、災害ボランティアセンター設置訓練を開催しました。

井原青年会議所、地区社会福祉協議会、災害ボランティア事前登録者など48名が参加し、知恵を出し合い、試行錯誤しながらの運営体験をしました。

「地域づくりは近所づくりから」

近所福祉ネットワーク活動をはじめとした地域福祉活動への参加は、一人暮らしの高齢者の孤立などを防ぐ目的にとどまらず、地域の課題解決への取り組みや災害時などいざという時のためにも、近所同士心のつながりを強くし、普段から自助力・共助力を高める必要があります。

顔の見える関係づくり

核家族化の進行とともに、地域でのつながりが希薄になる中、地域社会のあり方を考え、住民みんなで地域の課題解決に取り組み、それぞれの地域の実情に応じた地域づくりを進めていかなければいけません。

普段から自助力・共助力を高めるために、地域の福祉活動に参加し、顔の見える関係をつくるのが大切です。何か特別なことをしないといけないわけはありません。「こんにちは」と笑顔であいさつするだけでも、お互いの見守りにつながっていきます。



地域でできること（共助力）

近所のたすけあい

普段の近所づきあいに勝るものなし！
毎日のつながりが育む
“ご近助さん♪”

いざという時の安心のために

近所に配慮を必要としている方はどのくらいいるの？
普段からのかかわりが支援体制をつくる糸口に



地域の防災訓練

自治会や地区社協などで開催されている研修や訓練に参加しよう！



災害に備えて

被害想定区域や避難経路・避難場所などの確認、地域の環境整備
(草刈り・溝そうじ
ゴミ拾い など)



あなたの地域の周辺は？
ハザードマップを見よう！

自助力…自分(家族)でできること

共助力…地域でできること



日ごろからコミュニケーションを心がけ、いつでも気軽に声をかけあうことで、自然と交流の輪がひろがっていきます。人と人がつながり、自助力・共助力を高めていくことは、地域力の向上にもつながります。

ご近所同士が日ごろから顔を合わせてふれあい、声をかけあうことで、普段の暮らしに限らず災害時などにも安心して暮らすことにつながるのではないのでしょうか。

ご近所づきあいを通して、暮らしやすい魅力的なまちづくりをみんなで進めていきましよう。

自分（家族）でできること（自助力）

- ・ 普段の家族の行動を知ろう
- ・ 災害があった時の連絡方法を確認しておこう
- ・ 非常時にすぐに持ち出しできる準備をしておこう
- ・ 避難場所を確認しておこう など

3日分の食糧って
どのくらいかな？



おじいちゃんには
メガネが必要だね。

★さあ、今夜は

家族で話し合おう★

自助力こそ最大の 災害対策！！

まずは自助力を高めることが最優先です。自治会への加入など積極的に地域の活動に参加しましょう。



自らの備え「自助力」を高めて、自分の被災を少なくすることは、地域住民と協力して活動できる「共助力」につながります。

あなたの共助力を見てみよう！

あなたの共助力がどれくらいか診断！
あなたの知人について、ご近所と徒歩圏で当てはまるものにチェックしてみましょう！！



ご近所 半径400m圏内
徒歩約5分



徒歩圏 半径4km圏内
徒歩約1時間

たすける力	ご近所	徒歩圏
① この距離圏に知人が住んでいる	☐	☐
② 知人の家を知っている	☐	☐
③ 知人の連絡先を知っている	☐	☐
④ 知人が家にいる時間帯を知っている	☐	☐
⑤ 災害時に知人を助けに行く	☐	☐
たすけられる力	ご近所	徒歩圏
① この距離圏に知人が住んでいる	☐	☐
② 知人はあなたの家を知っている	☐	☐
③ 知人はあなたの連絡先を知っている	☐	☐
④ 知人はあなたが家にいる時間帯を知っている	☐	☐
⑤ 災害時に知人はあなたを助けてくれる	☐	☐

稲倉 地区社会福祉協議会

地区社協紹介 No.11

① ずばり！我が地区はこんなところ

高齢者と子供達の笑顔があふれるまち

② 地区での活動

- ・給食サービス活動
- ・出産お祝金
- ・友愛訪問活動
- ・香典
- ・ふれあいサロン活動
- ・生きがい対策活動
- ・ご近所福祉ネットワーク活動
- ・広報活動
- ・赤羽根力フェ



生きがい対策活動（門松づくり）

※コロナ禍により現在休止中の活動があります。

③ 活動への思い

明るく、笑顔で楽しく！

④ こんな地区を目指します！

人々が住み慣れた地域で
助け合い、ささえながら安心
して笑顔で暮らせる地区。

地区人口：1,542人
(令和4年11月末)
福祉員人数：34人
サロン数：5サロン



へ
モ
ッ
ト
ー
一
期
一
会

稲倉地区社会福祉協議会
会長 上野 みさこ さん

《プロフィール》

- ・1949年6月矢掛町生まれ
- ・趣味 … 編物、ハンドベル
- ・1992年より民生委員
- ・2021年より稲倉地区社会福祉協議会会長に就任



授賞された方々

地区社会福祉協議会
生駒 五二六（西方町）
民生児童委員協議会
笠原 正広（東江原町）
刈谷 憲市（芳井町）
谷本 勉（下稲木町）
石原 和子（井原町）
木山 敏治（下出部町）
津島 洋子（神代町）
井上 国雄（青野町）
三宅 智江子（芳井町）
小山 敏弘（美星町）
鈴木 泉（美星町）

12月21日（水）アクティブライフ井原を会場に、地域福祉関係者など約200名が一堂に集う中、多年にわたり地域福祉の向上に貢献された方々の表彰式を行いました。

記念講演では、作家落合恵子さんに「違いから学び合う……助けると言える社会へ」と題した講演をいただき、人と人とのつながりのありがたさをあらためて強く感じ、会場のみなさんは熱心に聞き入っていました。



令和4年度 井原市社会福祉大会

～おめでとうございます～

だれかに頼ることは恥ずかしくない!!



昨今、テレビなどでも特集されています不登校・ひきこもり…それらの背景にある“生きづらさ”は、どこから生じてくるのでしょうか。

一人ひとりが感じる“生きづらさ”を見過ごすことなく、声をかけあい、ささえあいながら自分らしく生きていくためには、ささえ手の一人として、私たちにできることはなんなのでしょうか。

ひきこもりって？

家族以外の人との交流をほとんどせずに、6カ月以上続けて自宅にひきこもっている状態をいいます。

年齢・性別・職業などに関係なく、なんらかの理由でうまくいかないことやしんどいことが積み重なってひきこもりになるというケースが近年増えています。

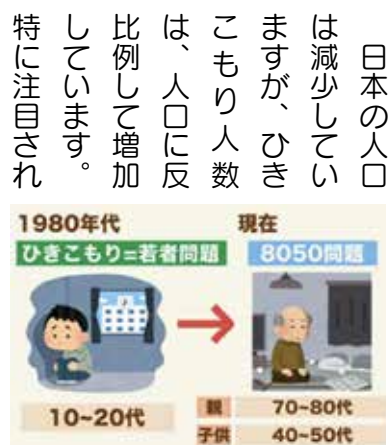
ひきこもりってダメ？

休みたいと思うときは、日々の自分のエネルギーが不足しているときです。エネルギーが回復したら自然と自分から外に出たくなります。

“ひきこもり”という時間は、人によって長さが違い、誰にも邪魔されない自分だけの時間です。まとまった時間は、自分を見つめ直すきっかけになったり、様々な価値を生み出していくものだと思います。私たちは今、”あえてひきこもる”を見直す必要があるのかもしれない。

ひきこもりが増加している？

増加している？



特に注目されているのが、ひきこもりの長期化・高齢化です。

高齢化した家族とともに追いつめられ、社会的に孤立してしまわないためにも、若いうちから相談するところをつくり、社会とのつながりを絶やさないことが重要です。

ひきこもり研修会

12月10日(土)に井原市総合福祉センターで「経験者が語る不登校・ひきこもりという選択肢」と題して、研修会を開催しました。実際に不登校・ひきこもりを経験した方によるお話に、参加者は熱心に耳を傾けていました。

まずはご相談を!!

平成29年からひきこもり相談支援センターを立ち上げ、毎月第4水曜日に専門家による専門相談を行っています。家庭内で解決しようとして、さらに長期化してしまうこともあり、ご家族のみの相談も可能です。秘密は守られますので、ぜひ相談にお越しください。

実際に相談に来られるご家族と一緒に適切な対応の方法やタイミングを考え、ご本人が徐々に社会参加できるようになってきている例もあります。

“ため込まずに相談する”言葉にして吐き出す”だけでも気持ちには楽になり、一歩踏み出すきっかけになるのではないのでしょうか。



相談日は、P6のふれあい福祉相談センター一覧表をご覧ください。

ご寄附ありがとうございました

令和4年10月16日
令和4年12月15日(敬称略)

◆香典返し・満中陰志

匿名

亡祖母 西方町 三嶋卓也
亡夫 芳井町吉井 沼波晴栄
亡父 芳井町与井 多賀正治
亡父 井原町 三宅正浩
亡母 上出部町 三木修一
亡母 木之子町 藤井秀樹
亡母 神代町 馬越英樹
亡母 木之子町 竹井厚仁
亡妻 高屋町 松井繁明
亡夫 上稲木町 山本由起子
亡母 西江原町 青木芳典
亡母 芳井町吉井 雛元敏文
亡夫 芳井町吉井 高橋フミコ
亡母 美星町三山 中本桂一
亡母 美星町明治岡田純一
亡母 美星町大倉 三宅栄太
亡母 美星町星田 山本浩造
亡母 美星町黒忠 妹尾正巳
亡母 美星町星田 三村輝香
井原町 藤岡 誠

◆一般寄附

制服・体操服・学用品募集！ ～子どもの成長応援プロジェクト～

★受付物品★

- ・制服、体操服(洗濯後、破れがなく汚れの少ないもの)
- ・鉛筆、ノート等の学用品(新品に限る)

★受付場所★

井原市社会福祉協議会、芳井支所、美星支所

★譲渡会★

希望者に別途ご案内します

詳しくは62-1484へお問い合わせください



ふれあい福祉相談センター

【予約先】井原市社会福祉協議会 ☎62-1484

相 談	内 容	日 時
ふれあい福祉相談	日常生活上の心配ごとや困りごとなどのあらゆる相談	月～金曜日 8:30～17:00
法律相談 要予約	法律上の難しい問題の相談 1件30分以内 (財産・相続・金銭貸借・境界問題等) ～新型コロナウイルス感染の拡大状況により、中止する場合があります～	1/17 (火) 13:00～16:00 2/ 7 (火) 10:00～15:00 2/21 (火) 13:00～16:00 3/14 (火) 13:00～16:00
ひきこもり 専門相談 要予約	専門家によるひきこもりに関する相談 ～新型コロナウイルス感染の拡大状況により、中止する場合があります～	1/25 (水) 9:00～12:00 2/22 (水)
療育相談	就学前の子どもの心配や悩みごとに関する相談	月～金曜日 8:30～17:00
介護相談	家庭介護や各種福祉サービスに関する相談	月～金曜日 8:30～17:00
金銭管理等 支援相談	福祉サービスの利用や日々のお金のやりとりの不安や悩みの相談	月～金曜日 8:30～17:00
福祉貸付相談	世帯の生活の安定を図るための資金貸付の相談	月～金曜日 8:30～17:00
障害者相談 支援センター	日々の暮らしの困りごとなどに関する相談	月～金曜日 8:30～17:00

※相談は無料で秘密は厳守します。

(祝日は除く)